



1. マーケット・レート

			6月6日	6月7日	6月8日	6月9日	6月10日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.4890	3.4420	3.3620	3.4000	3.4190	+0.0190
	BRL/JPY	Spot	30.83	31.18	31.77	31.53	31.27	-0.26
	EUR/USD	Spot	1.1355	1.1358	1.1395	1.1317	1.1251	-0.0066
	USD/JPY	Spot	107.57	107.35	107.01	107.09	107.00	-0.09
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.67	13.73	13.70	13.78	13.79	+0.0066
	Future	1Year(p.a.)	12.97	13.04	12.97	13.06	13.15	+0.0892
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.617	2.776	2.788	2.748	2.803	+0.055
USD		1Year(p.a.)	2.707	2.881	2.914	2.839	2.935	+0.096
株式	Bovespa指数		50,431.80	50,487.86	51,629.29	51,118.46	49,422.16	-1,696.30
CDS	CDS Brazil 5y		332.60	327.88	326.31	334.17	344.62	+10.45
商品	CRB指数		191.270	192.427	195.822	195.099	192.888	-2.211

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィcerまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 米国利上げ期待の後退を背景にリスクオンムードとなる中、レアルは約10か月ぶりの水準まで上昇。
- 今週のレアルは3.5250で寄り付き、直後に週間安値となる3.5280を示現した。先週発表された米5月雇用統計が予想を大きく下回ったことを受けFRBの早期利上げ期待が後退すると、リスク資産が買われ、レアルは昨年7月末以来の高値となる3.3590まで上昇した。その後、高値警戒感から原油や株式が反落するとレアルも軟調に転じ、結局3.4190で越週した。
- 伯中銀公表のアナリスト予想調査では、2016年の経済成長率予想が-3.81%から-3.71%に3週連続で上方修正され、2017年末予想も0.55%から0.85%へ2週連続で上方修正された。また、2016年末のインフレ率予想が7.06%から7.12%へ3週連続の上方修正となった。
- 8日、伯中銀は政策金利を全会一致で14.25%に7会合連続で据え置いた。政策委員会の声明の内容は前回とほぼ同一で、高止まりするインフレ指標とターゲットを上回る期待インフレ指数が金融政策の柔軟性を制限しているとされた。
- ゴールドファイン次期伯中銀総裁が上院の指名承認公聴会において、低いインフレは持続的な経済成長に繋がると発言。インフレ抑制を重視するスタンスを示した。また、為替は変動制であるべきと発言したことを見て、市場では伯中銀による為替介入警戒感が後退した。

3.今週のチャート&ハイライト



出所 : Bloomberg

司法当局、与党有力政治家の逮捕請求を提出

ロドリゴ・ジャノ司法長官は汚職操作妨害容疑で現在離職中のジュカ元企画予算管理相、クニヤ前下院議長他、PMDBの有力政治家の逮捕請求を最高裁に提出した。逮捕には上院の承認が必要となるため、現在の議会基盤を勘案すると、裁判所が請求を受理した場合でも逮捕実現は難しいと見られている。現時点ではテメル暫定政権に政治基盤弱体化の兆しが見られないが、汚職操作の進展に今後も注視が集まる。現在の世論調査ではテメル政権の評価は、ポジティブ11.3%、中立30.2%、ネガティブ28.0%、分からぬ・無回答が30.5%となっている。



4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.35—3.55

メイレス伯財務相は14日までに政府歳出上限を定める憲法改正案を提出すると発表している。今の所テメル暫定政権の新政策に関する法案は順調に議会を通過しているが、汚職操作の進展による政治的混乱への懸念が高まっている。国外では16日のFOMCに注目が集まる。マーケットコンセンサスは政策金利据え置きとなっており、先週の雇用関連指標の結果が弱かったことを受けて今回のFOMCでの利上げを予想する声は少なくなっている。FOMC後のイエレン議長の記者会見と、FOMCメンバーの年内利上げ予想の分布に注目が集まっている。現状、年2回の利上げがコンセンサスだが、これが崩れるようならリスクオンムードからレアルはもう一段の上値を試す可能性がある。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.6%	0.4%	0.5%
米	ミカポン大学消費者マインド	94.0	94.3	94.7
米	月次財政収支	-\$56.0b	-\$52.5b	-\$84.1b

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	6/13	貿易収支(週次)	Jun-12	--	\$813m
ブラジル	6/13	税収	May	94850m	110895m
ブラジル	6/13	登録雇用創出合計	May	-85000	-62844
ブラジル	6/14	小売売上高(前年比)	Apr	-6.4%	-5.7%
ブラジル	6/14	CNI産業信頼感	Jun	--	41.3
米	6/14	小売売上高速報(前月比)	May	0.3%	1.3%
ブラジル	6/15	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Jun	1.27%	0.60%
ブラジル	6/15	IBGEサービス部門売上高 前年比	Apr	-4.7%	-5.9%
ブラジル	6/15	経済活動(前年比)	Apr	-0.045	-0.0631
米	6/15	鉱工業生産(前月比)	May	-0.2%	0.7%
米	6/15	FOMC政策金利(上限)	Jun-15	0.50%	0.50%
ブラジル	6/16	FGV CPI IPC-S	Jun-15	0.5%	0.6%
ブラジル	6/17	FIPE CPI-週次	Jun-15	--	0.40%
ブラジル	6/17	IGP-M Inflation 2nd Preview	Jun	0.0	0.0
米	6/17	住宅着工件数	May	1150k	1172k

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。